

令和元年度第2回広報・広聴委員会 会議報告

日 時 令和元年8月9日(金) 13:30~17:00
場 所 広島県大阪情報センター(会議室)
出席者 平岡委員長, 伊藤副委員長, 宇野, 坂口, 福嶋,
藤吉, 吉原, 鎌田, 西向

○開会あいさつ(平岡委員長)

○報告・協議

(1) 報告

a 令和元年度第1回役員会および総会について

・役員会・総会に出席した西向委員から, 協議内容等について報告した。

b ホームページへのアクセス状況について

・事務局(西向委員)から, 全史料協ホームページへのアクセス状況について報告した。
・訪問者数(IPアドレスベース)は1日当たり500~600件程度であり, 趨勢的な変動はみられない。

c ホームページへの他機関の情報掲載・リンクの状況について

・事務局(西向委員)から, ホームページの情報掲示板への情報掲載およびリンクの状況について報告した。
・非会員機関からの掲載依頼の採否については基本的に事務局の判断に委ねるが, 公的機関以外からの掲載依頼については, 当面, 事前に情報共有して委員会としての判断基準の確立をめざすこととする。

d ホームページのトップページの整理について

・事務局(西向委員)から, 被災文書のレスキュー活動に係る掲載情報を整理するとともに, トピックス欄を設けてアーキビスト認証準備委員会の情報を掲載したことを報告した。

e 委員会引継文書および会報・会誌バックナンバーについて

・事務局(西向委員)から, 前事務局から引き継いだ文書等の状況および会報・会誌のバックナンバーの在庫数量について報告した。

(2) 協議

a 会報第106号の進捗状況について

・事務局(西向委員)から, 会報第106号の入稿状況等について報告した。
・9月末の発行に向け, 事務局で編集作業を進めることとした。なお, アーキビスト認証準備委員会に関する記事を事務局で作成し, 掲載することとした。

b 会報第107号の編集方針について

・全国(安曇野)大会の実施計画案を踏まえて作成した会報第107号(大会特集)の構成案について, 事務局(西向委員)から説明した。
・記念講演会の講演要旨の作成主体などについて, 事前に大会・研修委員会や会長事務

局等と役割分担を確認しておく必要がある。

- ・視察研修の記事については鳥取県に依頼する。大会参加記の執筆者については、参加申込み状況を共有して人選し、大会前に依頼することとする。

c 会誌『記録と史料』第30号の構成について

- ・投稿希望の申込み状況について事務局（西向委員）から、執筆の打診状況等について各委員からそれぞれ報告した。

○特集テーマ「30年を振り返る（仮）」

- ・基本コンセプトについて、藤吉委員がたたき台を作成し、各委員の調整を経て早期に各執筆依頼者に伝えることとする。

○論考

- ・投稿希望を含めて2本前後の論考が寄せられる見込みである。

○アーキビストの眼

- ・公文書館機能普及セミナーが11月に開催される見込みであり、原稿締切を先延ばしして調査・研究委員会に2～3本の記事を依頼する。

○世界の窓

- ・投稿希望を含めて3本前後の記事が寄せられる見込みである。

○ネットワーク

- ・埼玉県の1本のみが確定している。情報収集を進めてもう2～3本執筆依頼する。

○書評と紹介

- ・坂口委員から示された候補書籍9冊について、各委員から執筆候補者に打診する。
- ・対象書籍の入手については、まずは事務局から出版社に献本を依頼する。

○ふぁいる

- ・故吉本富男氏（全史料協元参与）の追悼記事の執筆を埼玉県立文書館に相談する。

(3) その他

a 次回委員会および第45回全国大会について

- ・第3回委員会は、第45回全国（安曇野）大会の2日目（11月15日）に開催する。
- ・大会の詳細については大会・研修委員会で調整中であり、第3回委員会の開催時刻・場所および大会取材等の役割分担については、後日メールで調整する。

b その他事務連絡等

なし